

「ニュース専修」

専修大学ホームページ

https://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- ① 科研費22年度採択は96件 新規24件……
- ② 異文化コミュニケーション学科留学レポート
- ③ 21年度就職希望者就職率回復96・4%……
- ④ 文・李教授、COPサッカー女子W杯でコーチ
- ⑤ 石巻専修大学 震災遺構の門脇小を訪問……
- ⑥
- ⑦

おことわり
マスク未着用の写真は
撮影時のみ外しています

お知らせ

「ニュース専修」の次回発行は
9月号(9月15日発行)です
最新情報は大学ホームページ、公式Twitter、Facebook、
ご確認ください。

佐々木重人学長を再任



学校法人専修大学は、任期満了に伴う次期専修大学長の選任を行い、7月6日開催の理事会で、佐々木重人学長(商学部教授)を選任(再任)した。3期目で任期は3年。就任は9月1日付。次期学長候補者の選出は、専修大学学長選任に関する規程に基づき、6月28日、神田・生田両キャンパスで第1回投票が行われ、佐々木学長が427票を獲得した。

有効投票の過半数を得たため、投票管理委員会(石鎚英也委員長)は、専修大学は7月6日、評議員会の議を経て理事会を開き、佐々木学長を次期学長に再任した。

佐々木学長は1978年専修大学商学部卒業。83年専修大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。同年専修大学商学部助手。助教を経て専修大学は7月6日、評議員会の議を経て理事会を開き、佐々木学長を次期学長に再任した。67歳。

◆投票・開票結果 (6月28日実施)

| | |
|------|------|
| 投票総数 | 449票 |
| 有効投票 | 427票 |
| 無効投票 | 22票 |
| 得票数 | 427票 |

過去最多 11人が最終合格

国家公務員採用 総合職試験

6月20日、人事院は2022年度国家公務員採用総合職試験の合格者を発表した。本学からは過去最多の11人(全員4年次生)が最終合格を果たした。また、合格者数で私立大学全国11位となった。

採用試験の「専門試験」は、法文系、理工系、農学系に区分され、区分ごとに合格者を決定する。本学学生は「法文系」のみで試験に挑戦。区分別の内訳は政治・国際7人、法律2人、経済2人。

また、11人全員が本学エクステンションセンター主催の「公務員試験講座」受講生だった。

本学では、学生の多様な希望進路などに合わせ、さまざまなキャリア支援プログラムを展開している。中でも、1996年開講の「公務員試験講座」は国家総合職試験をはじめとする上級試験の合格を目指す学生への講座で、毎年数多くの合格者を輩出している実績ある本学オリジナルの講座。専大生のことを知り尽くした講師陣が確実に合格へと導く。

夏期JLCプログラム

留学生が「日本」体験

グローバルフロアで七夕まつり



留学生と日本人学生と一緒に七夕を楽しんだ

日本語学習を希望する外国人のための「夏期日本語・日本事情(JLC)プログラム」が6月17日にスタートした。

今期は、新型コロナウイルス感染症の水際対策が緩和され、一部の短期留学生の入国が可能となったことを受け、2年半ぶりに対面形式での実施となった。国際交流協会の協力により、国際交流協会のカルガリー大学(カナダ)、オレゴン大学(米国)と、一般申し込みのハンガリーの学生1人の計6人が参加。留学生たちは約7週間にわたり、国際交流会館に滞在し、生田キャンパスで授業を受ける。また、さまざまなイベントを通じて日本人学生とも触れ合い、日本語や日本文化などについて学ぶ。

留学生は7月5日には浴衣の着付けを体験。また7日には、神田キャンパス10号館グローバルフロアで七夕まつりが開催された。

JLC留学生のほか、本学の学生や協定校からの交換留学生、キャンパス近くの九段日本語学院の短期留学生など28人が参加。一緒に七夕飾りを作り、短冊に願いごとを書いて飾った。母国の七夕行事や夏のイベントの話などで盛り上がり、浴衣姿の学生たちは、夏の宵を楽しんだ。

経営学部創立60周年記念行事 交流深め飛躍誓う



小堺さんを交えて参加者一同で記念撮影

小堺一機さんが基調講演

経営学部は創立60周年を迎え、記念式典を6月18日、生田キャンパスで開催した。タレントの小堺一機さん(昭44経営)が基調講演。「経営学部再入門セミナー」では、教員や社会で活躍する卒業生が講師となり、アフターコロナを見据えた注目テーマについて講演した。大勢の卒業生、教員、在学生らが集い、相互に知恵を交換し合い、未来の学びに向けて飛躍を誓った。



専大時代の思い出を語る小堺さん

経営学部は1962年、社会に貢献する人材の創出以来、理論と実践として多方面で活躍している。式典では馬場杉夫実行委員長、関根純学部長のあいさつに続き、学部OBの小堺さんが「水の如し」と題して講演した。幼いころから入を笑わせた。在学中に芸能界入り。昼間第三部の交流会では、実行委員会と卒業生有志が企画したレクリエーションを行った。世代を超えてチームを組み、学部や経営学にまつわる謎解きに取り組んだ。会場は新型コロナウイルス感染症対策を徹底。参加者はセミナーや交流会を通じて親交を深め、新しいビジネスのアイデアなどを話し合い、今後ネットワークを強化していくことを誓った。

「再入門セミナー」池本正純名誉教授(左)と卒業生が起業をテーマに意見を交わした

小堺さんは「人生、悪いことがあれば、その分良いこともある。コロナ禍を経験した皆さんの将来にはきっと良いことが待っている」と語りかけた。

第二部では、「アフターコロナの新しい働き方」をテーマにした、学び直しのためのセミナーを開催。起業やサステナビリティをテーマにして、それぞれ分野で活躍する16人の卒業生を含む24人が講師となり、最新の情勢などについて語りかけた。

第三部の交流会では、実行委員会と卒業生有志が企画したレクリエーションを行った。世代を超えてチームを組み、学部や経営学にまつわる謎解きに取り組んだ。会場は新型コロナウイルス感染症対策を徹底。参加者はセミナーや交流会を通じて親交を深め、新しいビジネスのアイデアなどを話し合い、今後ネットワークを強化していくことを誓った。

「再入門セミナー」池本正純名誉教授(左)と卒業生が起業をテーマに意見を交わした

小堺さんは「人生、悪いことがあれば、その分良いこともある。コロナ禍を経験した皆さんの将来にはきっと良いことが待っている」と語りかけた。

第二部では、「アフターコロナの新しい働き方」をテーマにした、学び直しのためのセミナーを開催。起業やサステナビリティをテーマにして、それぞれ分野で活躍する16人の卒業生を含む24人が講師となり、最新の情勢などについて語りかけた。

第三部の交流会では、実行委員会と卒業生有志が企画したレクリエーションを行った。世代を超えてチームを組み、学部や経営学にまつわる謎解きに取り組んだ。会場は新型コロナウイルス感染症対策を徹底。参加者はセミナーや交流会を通じて親交を深め、新しいビジネスのアイデアなどを話し合い、今後ネットワークを強化していくことを誓った。